

授業科目	薬理学	担当講師	非常勤講師 (実務経験のある薬剤師)
開講年次	1年次	単位数・時間数	1単位・30時間
科目目標	薬物の性質および作用機序、人体の影響について学ぶ。		
使用テキスト	系統看護学講座「薬理学」医学書院		
評価方法	試験、レポートにより総合的に評価する。		
単元	時間数	学習内容	備考
1. 薬理学の基礎知識	8	<ul style="list-style-type: none"> 1 薬が作用するしくみ 2 薬の体内動態 3 薬物相互作用 4 薬効の個人差に影響する因子 5 薬物使用の有益性と危険性 6 薬と法律 	
2. 抗感染症薬	2	<ul style="list-style-type: none"> 1 好感染症治療薬に関する基礎知識 2 抗菌薬 3 抗真菌薬・抗ウイルス薬・抗寄生虫薬 	
3. 抗がん薬	2	<ul style="list-style-type: none"> 1 がん治療に関する基礎知識 2 抗がん薬 	
4. 免疫治療薬	2	<ul style="list-style-type: none"> 1 免疫系の基礎知識 2 免疫抑制剤 3 免疫増強薬・予防接種薬 	
5. 抗アレルギー薬・抗炎症薬	2	<ul style="list-style-type: none"> 1 抗ヒスタミン薬と抗アレルギー薬 2 炎症と抗炎症薬 3 関節リウマチ治療薬 4 痛風・高尿酸血症治療薬 	
6. 末梢での神経活動に作用する薬物	2	<ul style="list-style-type: none"> 1 神経系による情報伝達 2 自律神経系作用薬 3 交感神経作用薬 4 副交感神経作用薬 5 筋弛緩薬・局所麻酔薬 	
7. 中枢神経系に作用する薬物	2	<ul style="list-style-type: none"> 1 中枢神経系の働きと薬物 2 全身麻酔薬 3 催眠薬・抗不安薬 4 抗精神病薬 5 抗うつ薬・気分安定薬 6 パーキンソン症候群治療薬 7 抗てんかん薬 8 麻薬性鎮痛薬 	

		9 片頭痛治療薬	
8. 循環器系に作用する薬物	2	1 降圧薬 2 狭心症治療薬 3 心不全治療薬 4 抗不整脈薬 5 利尿薬 6 脂質異常症治療薬 7 血液凝固系・線溶系に作用する薬物 8 血液に作用する薬物	
9. 呼吸器・消化器・生殖 器系に作用する薬物	2	1 呼吸器系に作用する薬物 2 消化器系に作用する薬物 3 生殖器・泌尿器系に作用する薬物	
10. 物質代謝に作用する 薬物	2	1 ホルモンとホルモン拮抗薬 2 治療薬としてのビタミン	
11. 皮膚科用薬・眼科用 薬	1	1 皮膚科用薬 2 眼科外用薬	
12. 救急の際に使用され る薬物	1	1 救急に用いられる薬物 2 急性中毒に対する薬物	
13. 漢方薬	1	1 漢方医学の基礎知識 2 漢方薬の種類	
14. 消毒薬	1	1 消毒薬の種類と応用 2 消毒薬の適用	